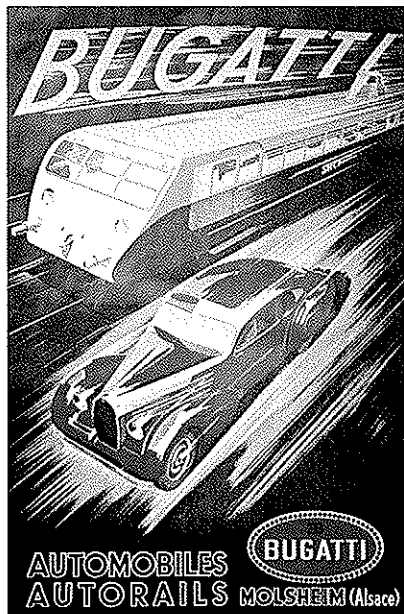
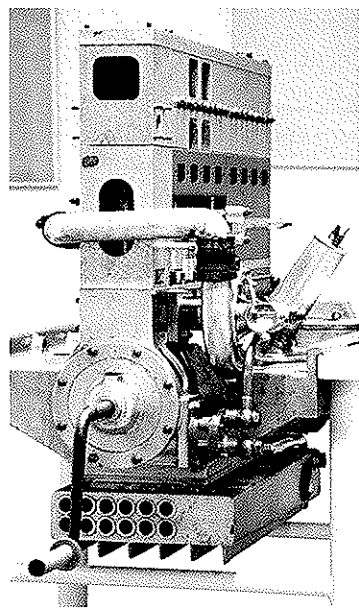


ブガッティ・トラストへようこそ

小さな常設展示一つがブガッティの物語を伝えます。その芸術性と獨創性が写真や模型、図表、機械部品そして自動車そのものの展示により表現されています。



常設展示にある1930年代のポスター（右）、およびブガッティのエンジン側部（下）



入場無料

ご来場の方は当館の通常開館時間中ご自由に展示をご覧ください。

グループ訪問

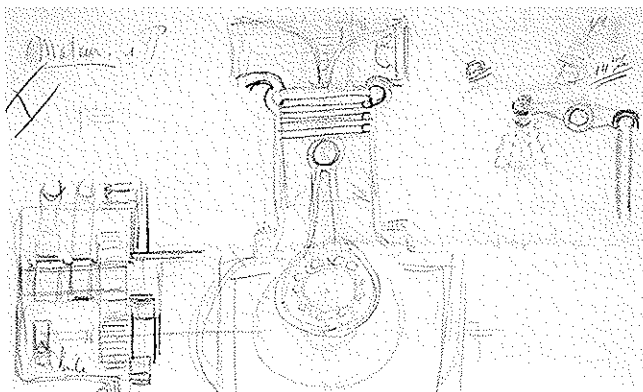
事前にご連絡いただければ、簡単なガイドまたはイラストを用いたレクチャーをご用意します

グループ訪問の内容はご要望に合わせて調節致します。

研究

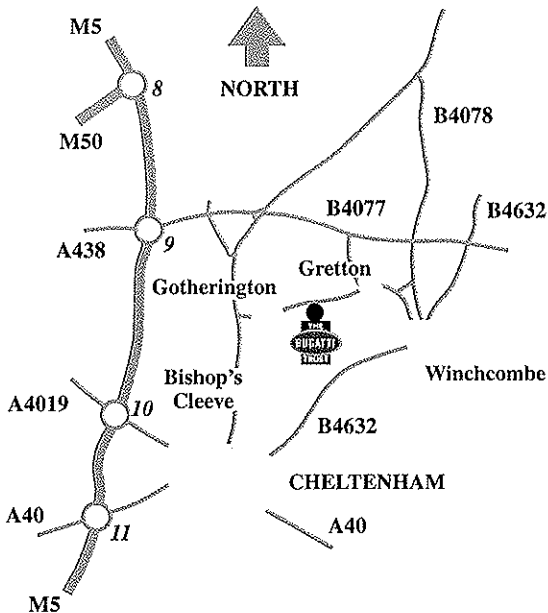
保管されている写真や文書および図書館は、学術的研究にご利用できます。

ブガッティ・トラストの一般公開は、月曜から金曜の午前10時から午後4時まで、およびそれ以外の時間帯はご相談により行っています。



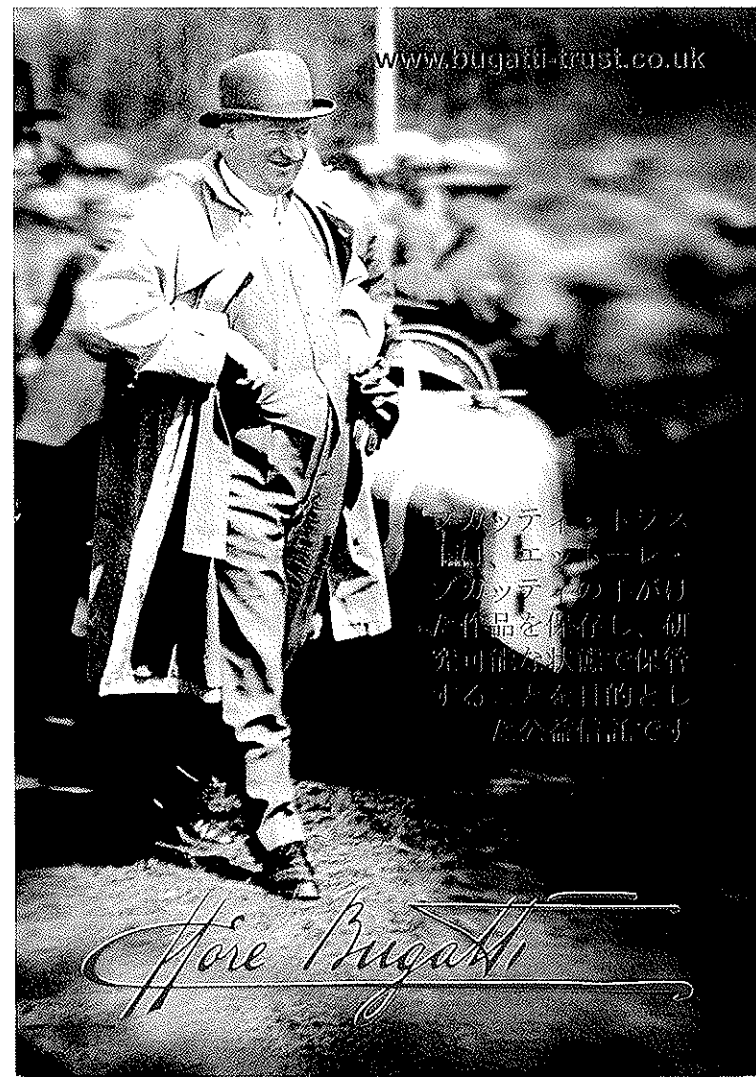
エットーレ・ブガッティによるガソリン/電気ハイブリッドカー・エンジンのスケッチ原本

当館への行き方



ウェブサイト: www.bugatti-trust.co.uk

リビー・オークレイ (秘書) Libby Oakley
 デビッド・モリス (カメラマン) David Morys
 The Bugatti Trust, Prescott Hill, Gotherington,
 Cheltenham, Gloucestershire GL52 9RD UK
 電話: +44 (0)1242 677201
 ファックス: +44 (0)1242 674191
 E-MAIL: info@bugatti-trust.co.uk



このコレクションは、エットーレ・ブガッティの手がかりな作品を保存し、研究可能な状態で保管することを目的とした公益信託です。

More Bugatti



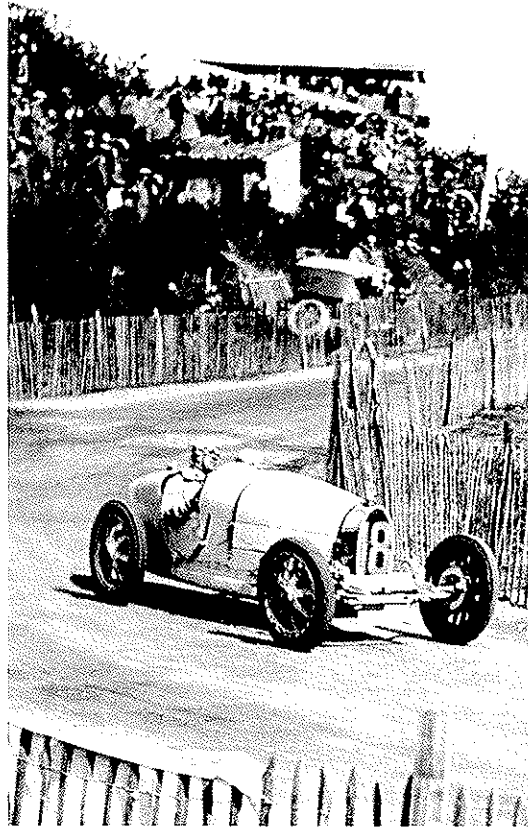
数々の作品が展示されているプレスコットの研究センター内

エットーレ・ブガッティ (1881-1947) が1920年代から30年代に製作したレーシングカーは、当時多くのレースを勝利してきただけでなく、今なお芸術作品として知られています。

1899年から他社のために数々の自動車の設計を行っていたブガッティは、1909年に小さな自動車工場をフランスに設立しました。それ以来30年以上もの間、彼は自動車のみならず、様々な作品の発明、設計、製作を行いました。当時革新的で大きな成功を収めた1911年の小型レーシングカーや高級リムジン、20年から30年代に製作したグランド・ツーリングカー、さらにエンジンや機械部品そして鉄道車両など、ブガッティは二十世紀の産業デザインを代表する数々の作品を生み出しました。

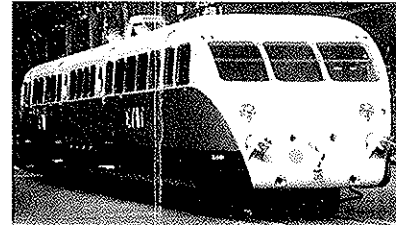
ブガッティはエンジニアとしての正式な教育を受けたことはありませんでしたが、彼の才能と自信に裏付けられたかのような独自のスタイルと方式を確立していきました。

いくつもの大きな失敗を乗り越え創り出された彼の作品には、全く無駄のない素材の利用と、妥協を許さない設計の一貫性が顕著にみられます。こうした自身の作品をブガッティは「サラブレッド」(Pur Sang)と形容しています。

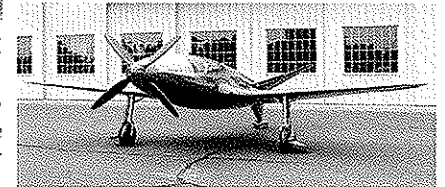


記録保管所より：「1924年フランスGP、リヨンにて ('The 1924 French GP at Lyon)」ーブガッティ・タイプ35は最も多くの成功を収めたレーシングカーの一つとしての名声を得ました

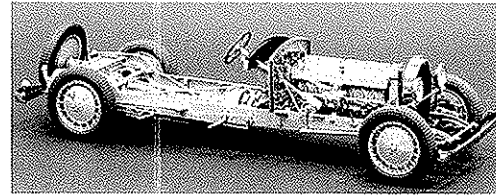
ブガッティの作品は、当時の機械設計の象徴的存在となります



1930年代中頃のブガッティによる鉄道車両。重たい蒸気機関車に代わって、これらの鉄道車両はフランスで幅広く使われ、その当時のスピード世界記録を樹立しました



1930年代後半に航空速度記録を樹立したブガッティの飛行機は、現在ウイソコンシン州のオシュコシュにあるエアベンチャー博物館 (AirVenture Museum) に展示されています



レーシングカーだけでなく、1926年に設計された12リットル式「ロワイヤル (Royale)」などのあらゆる種類の乗用車をブガッティは製作しました

第一次世界大戦時のブガッティ航空エンジンー米国における試験にて

